

**製品名: RBAK ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab16942**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:2000-1:20000
分子量	85kDa

**抗原情報**

遺伝子名	RBAK
別名	RBAK; ZNF769; RB-associated KRAB zinc finger protein; RB-associated KRAB repressor; hRBaK; Zinc finger protein 769
遺伝子 ID	57786.0
SwissProt ID	Q9NYW8
免疫原	抗血清はヒト RBAK 由来の合成ペプチドに対して産生された。アミノ酸範囲: 1-50

**背景**

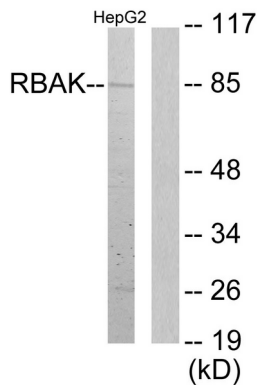
この遺伝子は、腫瘍抑制因子である網膜芽細胞腫 1 と相互作用する核タンパク質をコードしています。相互作用する 2 つのタンパク

質は、E2F1 転写因子によって活性化されるプロモーターの転写抑制因子として作用すると考えられています。このタンパク質には、転写抑制因子モチーフである Kruppel 関連ボックス (KRAB) が含まれています。下流遺伝子 LOC389458 のエクソンを含むリードスルー転写産物は、この遺伝子座から発現されます。[RefSeq 提供、2011 年 3 月]機能: E2F 依存性転写を抑制する可能性があります。AR 依存性転写を促進する可能性があります。類似性: krueppel C2H2 型ジンクフィンガータンパク質ファミリーに属します。類似性: 1 つの KRAB ドメインを含みます。類似性: 16 個の C2H2 型ジンクフィンガーを含みます。サブユニット: AR および RB1 と相互作用します。NR3C1/GR などの他の核ホルモン受容体と相互作用する可能性もあります。組織特異性: 骨、脳、心臓、腎臓、肝臓、肺、膵臓、胎盤で発現します。、

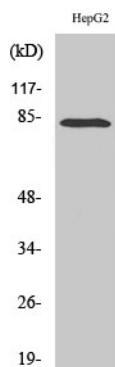
## 研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達; 転写; 転写因子

## 画像データ



RBAK 抗体を用いた HepG2 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



RBAK ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウェスタン ブロット分析。